

ふれあい

み せい ねん しゅちよう

未成年の主張!!

よ こうちく はっぴよう つど どうどう
～ 四郷地区 発表の集いで、堂々と…

高花平小学校 学校だより
No. 29
平成 29(2017)年 2月-3
☎ 321-3040, 320-2074

～ 自分たちの身の回りであったこと
に心を痛め、あれこれ考えてく
れました。読んでみて、あなたは、
どんなことを考えますか？

「いじめや差別をなくしていくには」(6年)

いじめや差別は、障がいのある人や外国人のように、自分とはちがう人
に対して、偏見を持ち、暴言を言ったりすることから起こってくるのだ
と思います。私のまわりにも、一人の子を仲間はずれにしたりして、差別
をしていることがありました。

それは、一人の子が、つい傷つける言葉を書いてしまったことから、始まりました。言われた
子だけでなく、そのまわりの何人かでその子にいやがらせをしていました。私は、止めにいっ
たら まきこまれてしまうと思って、知らないふりをしていました。

でも、今思うと、これは、見ていて止めなかった人も同じで、私も、いっしょに その子をい
じめてしまっていたことになると、気づきました。あのときに、私がいじめを止めていたら、
いじめはなくなっていたと思うし、ほかの人たちも止めていれば、いじめはもう終わっていたか
もしれないと思います。

この経験から、私は、いじめだと思ったら、勇気を出して止めないといけないと思いました。
人は、直そうと思っても直せないことだってたくさんある。攻めてもしょうがないのです。だ
から、少しちがうということで、人を差別するのではなく、肯定していきたく、私は思いま
した。そして、そのちがいで困らせるのではなく、その人の気持ちを考えて行動していかないと
いけないと思う。

これからは、いじめられている人や、差別されている人を見かけ
たら、そんな行動をしている人を注意したり、止めたりしていき
たい。でも、私一人の力では難しいのです。一人でも多くの人が、
いっしょに行動してほしいと思います。いじめや差別は、自殺や事件
にもつながっていきます。命を大切に、一人ひとりが思い合って、
差別やいじめをなくしていけるようにしたいと、私は思いました。



いじめや自殺などのニュースが、毎日のように伝えられます。高花平小でも、例外ではありませんでした。
悪口、けんか、仲間はずれ(*本当は仲間はずれ)など、いろいろありました。私たちおとなでも、間違っ
たことをしたり、過ちをおかしたりします。ましてや、子どもは「未完成」、間違いや問題はあってもおかし
くありません。そのたびに、先生たちは、学級会や道徳で根気よく考えさせたり、時には毅然とした対応を
続けたりしてきました。また、PTA・地域のみなさんにも、授業などを見守ってもらったりもしました。
おかげで、今では、ずいぶん落ち着いてきたと思います。卒業・進級まであと少し…。
「いろいろあったけど、がんばったな!!」と、さらに心の成長につながってくれることを願っています。

心のキャッチボール ～ みなさんからの声・57～

…… 学校評価（保護者・児童アンケート）「自由記述」の欄から ⑤ ……

○いつも子どものために、ありがとうございます。特に、地域の方々の支援は、子どもにとっても、地域の高齢者にとっても良いものと思います。みんなが暮らしやすい町になるといいと思います。

○あいさつ運動に立っていても、あいさつする子どもが少ないです。目を見てあいさつできる子は、もっと少ないです。忙しいのに、立っているのがもったいないくらいです。

○子どもが、先生からバカにされていると受け取ってしまうような言い方は、もう少し配慮が必要だと思ふ。

→ いずれも、“心の学力”にかかわるものですね。

地域のみなさんには、「登下校の見守り」をはじめ、「地区探検」・「昔あそび」・「米づくり」の指導、「あいさつ運動」や「クリーン作戦（親子、地域の合同作業）」・「夏のプール監視」など、学校や子どもたちのためにお世話になっています。“わが子、わが孫”という思いで接して下さっているようで、本当にありがたいことです。来年度からは、『人材バンク』のような形で登録してもらうなど、さらにいいシステムが考えられたらなあと思っています。

→ 明るく元気なあいさつが返ってくる子が多いのですが、中には、「耳なし芳一」のように黙っている子もいます。学校でも、先生たちが校門に立ったり、児童会のあいさつ運動を考えたりしてもらったこともありました。私（校長）も、毎朝、校門に立ちましたが、疲れからか 休み明け・月曜日はちょっと、あいさつも“湿りがち”だったようです。

あいさつができる子は、家庭でも、家族同士の「おはよう」「ありがとう」…のあいさつをしているお家が多いようです。今後も、学校・家庭・地域でも粘り強く取り組んでいきましょう。

…… 高花平の吉田沙保里選手!! ……

～ 2/25（土）には、6年生を送る会（9～11時、体育館）があります。歌・ダンス・合奏

など、あれこれ学年で工夫しているようです。よろしかったら、ぜひおいで下さい。

同日、三重県のスポーツに貢献した人を表彰する会（津市）があります。

喜ばしいことに、本校5年・川村さんが、レスリングの部門で表彰されることになりました。4年生の時には、全国大会1位に、今年は、体調をくずしていたにもかかわらず、決勝戦まで勝ち進むという快挙でした。



四郷の歴史を学ぶ学習会

～ 四郷の文化・歴史について学びませんか？～

■ 2/26（日）13:30～ ■ 四郷地区市民センター 2F ホール 《→ 当日、直接会場へどうぞ》

■ 内容 第1部（13:30～14:30）講演会「近代を支えた伊勢（日野）百日算」
～ 4代にわたり珠算を全国に普及させた井上親亮（日野珠算学校校長 井上敏博さん）
第2部（14:40～15:40）学習会「挑戦しよう！ 四郷ふるさと検定」（合格に向けて）